

長崎市南部地域における子どもたちの水泳環境の整備を求める陳情書

令和5年8月18日

長崎市議会議長  
毎熊 政直 様

陳情人

- ・ 住所 長崎市香焼町 418-16
- ・ 氏名 島 村 直子
- ・ 連絡先 XXXXXXXXXX



# 長崎市南部地域における子どもたちの水泳環境の整備を求める陳情

## 1 陳情の趣旨

この度、約38年間、地域に親しまれてきたスポーツ施設である「江川マリンスポーツセンター」が、老朽化のため令和5年(2023年)12月28日(木)をもって閉館することになりました。

現在、この施設では、屋内プール施設を中心に約900名の会員が定期的に活動しており、スイミングスクールには幼児から高校生ままで約500名の子ども達が通っています。

学校単位、幼稚園単位の利用もあり、今年度は、学校のプールが老朽化等の理由で使えなくなった4つの公立小・中学校が水泳の授業で利用しました。「プールが無いから、水泳の授業を受けられない。」といった学校間の格差も懸念されます。

高齢者の利用も多く、日常的な体力向上・健康維持や住民同士の交流の場としても利用されています。

この施設が閉館すれば、長崎市南部地域には屋内プールが無くなり地域住民へ大きな影響を及ぼすことは明らかです。

特に水泳選手として日々練習を頑張っている子どもたちは、県大会や九州大会でも活躍していますが、江川マリンの閉館予定に伴い、他の施設に問い合わせたところ、定員オーバーで断られたり、遠方で通えなかったりということもあり、行き場を失うという事態も想定されます。中学校の部活動の地域移行も実現が難しくなります。

近年では年を重ねるごとに猛暑が押し寄せ、それに伴う水難事故も増えています。日常的に水に親しみ、泳ぐことを体感することは、海に囲まれた長崎市に住む市民にとっても有意義であり、また長崎市南部地域だけ屋内プール施設がないということはその地域に住む方々にとっては大打撃となり過疎化に拍車をかけることにもなりかねません。

このような理由から、長崎市南部地域における子どもたちの水泳環境の整備を求めるものです。

成長期の子どもたちにとっては、夢に向かって努力するため、1日1日が大切な時間です。子どもたちが競技やスポーツをこのまま継続できるよう、何卒、お力添えをいただきますようお願いいたします。

## 2 陳情項目

- (1) 長崎市南部地域における子どもたちの水泳環境を整備してください。
  - (ア) 現在、プールに通っている子どもたちの受け入れ先を増やしてください。具体的には、公共の屋内プールにおける指導者の確保、利用時間の延長など。
  - (イ) 長崎市南部地域から公共の屋内プールまでの交通機関を充実させてください。具体的には、神の島プールと南部地域をつなぐコミュニティバスの運行など。
  - (ウ) 学校のプールが老朽化等の理由で「プールが無いから、水泳の授業を受けられない。」といった学校間の格差はさけてください。